

神奈川イグレンの活動状況を伝える機関紙 <第 130 号>

神奈川イグレンニュース

発行：神奈川県異業種連携協議会（会長 金究武正）

発行責任者：専務理事(事務局長) 芝 忠 編集担当：宗和 正憲

〒231-0015 横浜市中区尾上町 5-80 神奈川中小企業センタービル 5 F

TEL 045-228-7331 FAX 045-228-7331 (TEL 兼用)

<http://www.kanagawa-iguren.com>

2013年9月号 【 今月のコンテンツ 】

- 神奈川イグレンご案内 1
- 「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)の報告(その14) 2
- イグレン会員グループ・プロジェクト状況 3、4、5、6
- ふくおか会計事務所【連載6】公認会計士・税理士・中小企業診断士 福岡 雅樹氏・6
- 菓の美彩(くすりのみどり)【連載1】代表 小磯 清子 氏 7
- 産学官交流サロンコーナー/事務局コーナー 8

【 神奈川イグレンご案内 】

【会員募集】

神奈川イグレンでは平成 25 年度の総会で決議された通り、イグレン事務局の体制強化を図ると共に新規会員の募集を現在おこなっております。(詳しくはスタッフ及び関係者にご確認ください)

この紙面は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって出来上がっている情報誌です。皆様から寄せられた情報を基に編集し、精査した後、毎月 15 日前後に配信を行っています。皆様と共に作り上げていく情報誌ですので投稿や取材に来て欲しい、などございましたらイグレンまでご連絡ください。情報提供をお待ちしております。

企業において人、モノ、金はとても重要ですがもう一つ大切なのが情報。このイグレンニュースは多岐にわたる情報を発信しています。連載企画として社会保険労務士さん、税理士さんをお願いして経営者の皆様に役立つような情報を掲載してきました。

今回は、第一線で働く「人」について焦点を当て、経営者だけでなく会社を支える従業員さんの健康関連に関する記事を小磯 清子 女史にしばらく掲載していただくことにしました。

小磯氏は従来のドクターの処方通り「とにかく薬を出しましょう」という調剤薬局の姿に疑問を持ち、平成 24 年度よこすかビジネスオーディション(創業部門)に応募、みごと入選。現在、横須賀の北久里浜で調剤薬局でもないドラッグストアでもない、健康相談をメインとした薬局を運営されています。

今後は栄養士さんなどと連携して、地元企業や農家向けに健康を提案するコンサルタントとして事業展開していかれるようです。プロフィールなどは本誌の 7 ページをご覧ください。

「新事業・新技術支援フォーラム」(略称：戦略会議)の報告(その14)

神奈川イグレン事務局 松井利夫

第26回フォーラムは平成25年7月23日に開催。最初に鈴木氏から、足利工業大学で開かれた「第14回風力エネルギー利用総合セミナー」に参加したときの報告があった。このセミナーは足利工業大学学長の牛山泉先生が中心となって、同大学の総合研究センターが主催して開かれたセミナーであって、風力エネルギーに関して全国一である。講演内容を詳しく知りたい方には資料をコピーしてお配りします、とのことであった。

最先端の技術を知ろうと集まった参加者は風力発電メーカー、その運用会社、学者など250人くらいであった。このセミナーでは新しい風力発電を発表する人は少なく、運用に関係する人が多く集まっていたと報告があった。二重反転風車の今後のことであるが、50kwのものならば出来るので、展示型を目標にして作りたいと考えている。追い風がある今やらないと追い風がなくなってしまうとも発言があった。

現在、わが国には、700基の風力発電が有り、その内の500基は輸入品である。その半分は部品の交換が必要であるが、日本と違って部品の保管期間が5年程度であり、入ってこなくなるという問題が発生する。更に、鈴木氏からは、三浦半島や伊豆稲取に設置されている他社の風力発電についても説明があった。奥寺氏からは、二重反転風車が実際に動いているところはあるのか、との質問があったが、鈴木氏からは、二重反転風車は作るのが難しく、まだないとのことであった。

永瀬氏からは、二重反転風車の開発のためのスターター資金がまず問題である。江川氏からは、エンジェル資金を出す人はいないのか、などの質問があった。遠藤氏からは、もの作りのための補助金は少なくなり、来年度は農業や医療の方向に向くようであると発言。芝氏からは、専用のプロジェクトを立ち上げる必要があると発言があった。

次に、鶴野氏に代わって、八幡氏から、「KAIHO エンジン」マスコミ向け公開について説明があった。それによると、マスコミ向け公開を8月5日(月)13:30から横浜製機で行うことを発表した。この事業はNEDOの補助金を利用した事業であるため開発が終了したら解体しなければならない、とのことであった。鈴木氏からは、前回、かじってしまった件はどうなったか、との質問があり、これに対して、直接の原因はボルトが外れていたためであるが、何故外れていたのかが問題である、との江川氏の回答があった。遠藤氏からは、図面通り物が出来ると考えているのが問題である。もの作りに当たっては一つずつ問題をつぶしながら進めていかなければならない、との指摘があった。

次に、芝氏から、伊藤氏が来て相談の結果、「安全・防災プロジェクト」を立ち上げることになったことや、異グ連の名称変更、個人会員の年会費値下げ、産業NAVIの応募者をこのフォーラムに呼んで発表して貰うことなどの説明があった。また、第1回「高齢者孤立防止事業化研究会」を8月10日(土)10時より、中小企業センター14階の多目的ホールで開催するので参加して欲しいと呼び掛けた。

参考：ウィキペディア

2重反転プロペラ(2じゅうはんてんプロペラ)とは、2組のプロペラ(スクリュー)を同軸に配置し、各組を相互に逆方向に回転させるもの。機体や船体にかかるカウンタートルクを相殺したり、プロペラ効率向上を意図して採用される推進機構である。英名を略してコントラペラとも呼ばれ、飛行機に採用されているケースが有名であるが、船舶や魚雷などのスクリューに採用されたケースのほうが多い。



【 イグレン会員グループ・プロジェクト状況 】



<http://www2.manten-project.org/>

瀧澤 清

<当面の活動計画>

- 宇宙エレベータ 9月30日 15:00より
先月号で宇宙エレベータについて簡単に紹介いたしましたが、8月に開催された技術協議会では、予定以上の到達高度を得るなどの成果を得て終幕しましたが、まんてんプロジェクトでは、今後の支援方法等を検討するため、慶応大学、宇宙エレベータ協会を交えて役員、関係者で会議を行う。
- 定例会 10月9日 15:00より (中小企業センター13F会議室)
メインテーマは中小企業基盤整備機構より講師をお招きし、補助金を含めた支援政策について講演を頂く予定です。詳細はホームページでご確認ください。
- 研修会の開催 10月25～26日 (一泊)
福島で活動する会員企業3社を見学し技術交流を行い意見交換も行う。また、東日本の災害地を訪れ現地の人より復興に対する説明を受けるなどの予定で研修会を計画している。詳細は確定しだいメール、ホームページで連絡します。

※ 事務局所在地の変更

【 第143回・日韓ビジネス協議会 】

高橋 導徳

1. 日時：2013年9月25日 (水) 午後3時00分～5時15分 協議会
午後5時15分～6時15分 懇親会
 2. 場所：神奈川中小企業センタービル・・・5階会議室
かながわ異業種交流センター (異業種グループ連絡会議) TEL：045-228-7331
- 会社紹介・・・国際ナショナルエクスプレス株式会社参与 セールスアドバイザー 坪内義文氏
中堅のフォワード、乙仲業者、輸出入貨物の航空、海上の運送、通関業務
 - 企業支援・・・(有) ホンダマシン 代表取締役 本田武士氏
被災地の宮城精工 (株) 高橋正人氏に対する企業支援について
 - NPO三陸産業復興支援ASSIST SANRIKU活動内容に関して 事務局長 島田弘一氏
 - メイン講師：大島経営研究所 所長 大島英雄氏
タイトル：「BOP ビジネスでの企業成功事例 (JICA で採択されたもの)」 昨年、首記に関し発表した
発展途上国での低所得者層(Base of the Pyramid)へのビジネスについての成功事例3社) を紹介する。

先月のJAXA相模原キャンパス (宇宙航空開発機構) の見学会の参加者は17名でした。

【 C&Sグループ 】

〈平成25年度セミナー開催のご案内〉

C&S会長 松井利夫

平成25年度のセミナーを次のような要領で開催することになりましたのでご案内します。
申込方法など詳しい内容はチラシ等でお知らせします。

その1. テーマ：「みんなのビジネスオンラインで自社のホームページを作ってみよう」

【開催日時】平成25年11月20日(水) 14:00～17:00

【開催場所】川崎市産業振興会館 10階 第2会議室

【講師】中小企業診断士 山辺俊夫 (C&Sグループ会員)

【内容】中小企業の皆様に、「みんなのビジネスオンラインサービス」

による自社のホームページの作成方法をご紹介します。

現在、ホームページを作成したいが、どのように作成すればよいか分からなかったり、あるいは、以前、ホームページを作成したものの、更新しなくなってしまったりしている中小企業の皆様に、簡易で、かつ、比較的安価な方法でのホームページの作成をご検討していただきます。

その2. テーマ：「技術系公的補助金の申請と獲得の秘訣」(仮称)

【開催日時】平成26年1月29日(水) 14:00～17:00

【開催場所】かながわ県民活動サポートセンター 4階
第406会議室

【講師】中小企業診断士 松井利夫 (C&Sグループ会員)

【内容】

公的補助金の一つに「中小企業技術革新制度(SBIR)」という技術系の補助金があります。平成25年度の募集は、補正予算での募集を除いて殆ど終了しています。従って、これからは補正予算での補助金募集や平成26年度の補助金に応募することになります。初めて補助金に応募される方、今まで何回も応募したが補助金を獲得できなかった方を対象に応募する補助金の申請から獲得の秘訣まで易しくご説明いたします。

問合せ先

【C&Sグループ事務局】

神奈川中小企業センタービル5階
神奈川県異業種連携協議会 事務局内
〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80
電話：045-228-7331 (FAX 兼用)

会長 松井利夫、事務局長:杉本 明子
ホームページ：

<http://www.kanagawa-iguren.com/c-and-s/>

異業種交流会シフト21 【<http://shift21.jimdo.com/>】

<10月定例会>

有村 知里

- 10月8日(火) 18:30～20:20 かながわ県民センター304号室
□18:30 - 19:40 講演 「大企業だけじゃない！中小企業でもできるM&A」
一般社団法人 M&A 適正管理機構 中部局副局長及び
愛知県副支部長
株式会社 MAI コンサルティング 代表取締役 笹沼大輔様
M&Aの事例を踏まえながら、身近なM&Aについてお話いただきます。
- 19:50 - 20:05 会員プレゼンテーション 足立秀夫様
□19:55 - 20:10 プレゼンテーションタイム (ゲスト・会員)
会社案内 / 商品・サービス紹介など、
ご自由にご活用ください。お一人様5分間 3名様募集中

■異業種交流会シフト21とは
シフト21は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種・業態を問わない幅広い交流を目的に定例会(原則第2火曜日)を開催しております。ゲスト参加大歓迎です。お問合せ・お申込みは事務局・有村まで。
(arimura-c@nifty.com)

【 首都圏秋田応援団・・・地域活性化プロジェクト 】

イグレン 広報：宗和 正憲

先月8月号でご紹介いたしました首都圏秋田応援団の地域活性化プロジェクトオフィス代表の 宮川 豊氏による講演が第57回サロン・よこはまで開催され、参加しましたのでご報告致します。

「首都圏との地域間交流を通じ秋田の活性化を目指す」というテーマで始まった講演では秋田の人口減少について触れ、年間3万人程度の人が減っており、あと2～3年で100万人を割りそうな勢いだという事でした。私も少し調べたところ、秋田県企画振興部 調査統計課 生活統計班が発表している今年度の8月1日現在の県内人口が約105万1千人。出生率と死亡率を比較した場合、出生率を1とすると死亡率が2.4倍あることに加え、昨年度県外へ転籍した人が約4200人いることが見てとれます。この現象は秋田だけに限らず各地方でおきている問題で人口減少の問題は深刻さを増しています。

このままではいけないということから県では「交流」をキーワードとして人の流れを作り出し婚活などの出会いの場づくりや定住者を増やすための取組も行っているとのことでIターンやUターンに関するネットワーク作りも行っているという報告がありました。参加者からは歴史的背景や気候の問題などもありそこから変革をしていこうという意識づくりも必要であるとの意見が出ました。参考としていくつか出た内容の一部を以下に紹介します。

- ①県の中には変革に前向きな人もいるだろうが数年単位で部署が移動してしまうとその都度振出しに戻ってしまう。その為、そこから人間関係を作り出す事は難しい。こういう問題に関しては地域振興に特化した10年位の長い時間軸で取組む担当をつけることが大切ではないか。
- ②魅力ある地域にしていくにはあえて不便な街を売りにする逆転の発想も時には必要だ。近年では韓国や中国など、海外からあえて不便な所にもかかわらずそれ自体がめずらしいということでツアーが来ている地域もある。(新幹線などを通して便利になるとますます過疎化が進む結果になる)
- ③一度訪問したりピーターをどのように再訪してもらうかという意識づくりが必要だ。など様々な意見が出ました。

宮川氏は首都圏秋田応援団の事業の柱として5つの柱をあげています。第一は秋田暮らし実現事業、第二は秋田の物産販売事業、第三はものづくり交流推進事業、第四は観光資源の開発と交流推進事業、第五に人材育成事業です。様々な観点から秋田を応援していこうという宮川氏の話聞いて感じたことがあります。私たちの生活は時代の流れとともに世の中も便利になり、首都圏ではその実情に則して変化しています。それに合わせるように何とかしなければならないという地方官僚の考えと地域密着で生活している住民との間には少なからずギャップがあるのではなかろうかという気がしました。このままではいくといずれにしろ少子高齢化による過疎化は避けられないので秋田のみならず全国で同じ問題を抱えている自治体は今のうちから打てる対策は打つ必要があるのではなかろうかと個人的には感じました。

☆毎週土曜日大口通商店街（神奈川区）濱の市で「北東北地元産市」を開催！！

悪天候でない限り午前10時～午後3時迄開催しています。お近くにお越しの時はお寄りください。

また私（宮川）が販売していますので必ずおります。お声をお掛けください。

尚、今後首都圏でこのような活動を展開したいと思います。何か情報がありましたらお気軽にお寄せください。

■連絡先：地域活性化プロジェクトオフィス 宮川 豊 携帯080-1255-3875迄

【 一般財団法人 内藤泰春科学技術振興財団 】

一般財団法人 内藤泰春科学技術振興財団をご紹介します。この財団の事業目的は科学技術に関する研究開発のための助成を行い、科学技術の振興をはかり、国民生活の向上と経済の発展に貢献することを目的としています。

- 【事業内容】 (1) 科学技術に関する調査・研究開発に対する助成
(2) 科学技術に関する国際交流に対する助成
(3) その他、本財団の目的を達成するために必要な事業

詳しくはホームページをご覧ください。 <http://www.naito-zaidan.or.jp/>

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-16-21 栄屋ハウス 204

TEL 03-5545-6857 FAX 03-3585-7955

E-mail info@naito-zaidan.or.jp



ふくおか会計事務所
公認会計士・税理士・中小企業診断士 福岡 雅樹

<http://www.tax-fukuoka.com/about/index.html>



税制関連【 連載 その6 】 【 非嫡出子の法定相続割合 】

遺産分割をめぐる審判で最高裁大法廷は 9 月 4 日、法律上の婚姻関係にない男女の間に生まれた子（非嫡出子）の法定相続分を嫡出子の 2 分の 1 とする民法 900 条 4 号ただし書きの規定は、法の下での平等を定めた憲法 14 条 1 項に違反し、無効とする判断を下しました。

これまで同規定による区別が合理的理由のない差別的取扱いに当たるか否かをめぐって、最高裁が平成 7 年の大法廷で合憲とする判断を示して以降、その判断が踏襲されてきました。しかしながら、平成 7 年の判断において、既に 15 人の裁判官のうち 5 人が非嫡出子の立場を重視すべきであるとの反対意見を述べていました。その後の小法廷の判決及び決定においても、合理性が失われつつあること、立法府による解決を期待するなどの補足意見が述べられていたものの、合憲とする結論は辛うじて維持していました。

今回の決定では、14 人の裁判官が全員一致で違憲と判断し、遅くとも、当該事件の相続が開始された平成 13 年 7 月当時において、憲法 14 条 1 項に違反していたと判断し、それ以降は無効としたのです。

そこで問題となるのが、平成 13 年 7 月以降に同規定の合憲性を前提として既に行われた遺産分割等に対する影響です。違憲判断が解決済みの事案にも効果が及ぶとすると、著しく法的安定性を害することになってしまいます。そのため、本決定までに開始された相続について、既に関係者間で遺産分割の審判、その他の裁判、協議その他の合意等により確定的なものとなった法律関係に影響を及ぼすものではないと判示しています。

なお、法定相続分は遺言による相続分の指定等がない場合や、相続人全員による遺産分割協議で合意ができなかった場合などにおいて適用されるものであるため、必ずしも法定相続分どおりに相続しなければならないわけではありません。相続人に嫡出子と非嫡出子がいる場合などは争いを避けるためにも遺言書で相続分を指定しておくことが賢明と思われます。

薬の美彩 (くすりのみどり)

ホームページ <http://k-midori.jp/>

ブログ <http://blog.k-midori.jp/>



<小磯清子プロフィール>

1968年、神奈川県横須賀市生まれの横須賀市育ち。

小学校から高校卒業まで関東学院六浦で過ごし、1990年昭和薬科大学薬学部卒業後は薬剤師として横須賀市内の病院、その後は主に神奈川県内の調剤薬局で調剤業務や一般販売のお店で市販薬の販売などに従事。2011年1月から2012年5月までは病院での治験業務を支援するSMO(Site Management Organizations: 治験施設支援機関)に所属、治験コーディネーターとして各地の病院でドクターによる治験のサポート業務をしていました。

そして、2012年7月横須賀市内にて、健康全てに通じるアンチエイジングをテーマとした相談薬局を開業し、地域の皆様への健康を提案する取り組みをしています。

趣味は茶道(裏千家)ドライブ、旅行です。皆様どうぞよろしくお願ひします。

『ぴんぴんころりの為にアンチエイジング』

近年、日本は急激な高齢化を迎え、医療に関しても薬剤費、また救急車の出動回数も増え、医療費の膨大が健康保険を圧迫し続けています。年齢を重ねても薬に頼ることなく、前向きで、食事・運動・休息に気を遣い自ら健康管理をされている方は実年齢よりも若く見えることが多いものです。アンチエイジング(抗加齢)を心がけることは見た目だけではなく体の筋肉や骨、内臓機能の低下を予防し全ての健康の維持にも繋がることといえます。しかし高齢化が進んでも国民一人一人が健康に意識を持てば社会全体も若々しく元気でいられるとも言えるのではないのでしょうか。

私が薬剤師として感じたことですが、一般的に40歳台頃からストレスや生活習慣からくる肥満、高血圧症、高脂血症、糖尿病(予備軍含む)が増え、各々または複合的な症状に対処する薬剤を服用し始め、年月が経つと今度は副作用に対処する為に更にお薬の種類が増え、そして高齢となり、気が付けば10種類以上の処方薬を長期にわたって服用し続けるようになります。原疾患は一体何だったのだろう?と疑問が出てくる程、患者さん自身も服薬の意味が曖昧となってしまっているのに、習慣だから服用している状態になっているようなケースが多くあります。

それでも、薬を飲みながら天寿を全うするまで元気で自立した生活を送ることができればよいのですが、平均的には健康余命と平均余命の差は約10年程あり、つまり認知機能が低下したり介護が必要な状態が約10年間続くこととなります。健康保険で賄う医療費の面から考えるとそれまでの自己負担分以外の医療・介護等にかかる費用は健康で元気な人達、子や孫世代が背負っていることとなります。

誰もが願う長寿を全うしての『ピンピンころり』は、健康で過ごしている人にこそあり得る幸福な最期であり、寝たきりや、体の機能が低下して活動が制限されている状態では、すんなりと最期は迎えられず、何度も救急で入院を繰り返し点滴や管を沢山つけられて不自由な中で徐々に逝くパターンとなるのが実情です。

なのでアンチエイジングを心がけることで社会全体の活性化、生活習慣病予防、そして『ピンピンころり』にも大いに期待がもてるのではないのでしょうか。

【告知】 東海大学名誉教授 田島 知郎 先生をお迎えし健康セミナーを行います。(主催：小磯 清子)
お時間のとれますかたは是非ご参加くださいませ。参加表明は下記まで。

【日時】 10月22日(火) 13:15~14:45

【場所】 産業交流プラザ 第2研修室 : 横須賀市本町3-27 ベイスクエア横須賀一番館3階 046-828-1630

【会費】 500円 先着50名様

【申込】 TEL&FAX:046-897-0415 Email:info@k-midori.jp 又は <http://k-midori.jp>

	尾上町サロン	西湘サロン 第47回	三浦半島経済人サロン 第58回	神奈川新産学公交流 第58回 サロン横浜
日程	9月20日(金) 10月04日(金) 17:15~19:30	11月11日(月) 18:00~20:00 開場は17:30~	9月19日(木) 18:00~20:30 開場は17:30~	10月16日(水) 18:00~19:50 20:00~交流会
場所	神奈川県中小企業センター5階 イグレン事務所	日本生命小田原ビル 4階会議室 小田原市本町1-4-5	神奈川新聞社 横須賀支社 5階会議室 横須賀市小川町21-9	神奈川中小企業センター 5階 会議室 イグレン
連絡先	045-228-7331	イグレン(島津、吉池、)	イグレン(八幡、鶴野)	(織方、篠原、坂本、杉本)
内容	ざっくばらんに語りながら交流を深めましょう。 参加費:1,000円 今後、事業変更に伴い見直す場合もあります	「AT車ペダル踏み間違い事故防止の研究」 九州大学 新領域学術府(自動車大学院) 大野 一郎 氏 参加費:1,000円	「Oリング・テストによる自分で出来る安全確認」 汚染食品を自分で簡単に判断できる (株)Nセラ研 代表取締役 永瀬 英次郎 氏 参加費:1,000円	現在調整中 参加費:1,000円

9月に入りました。台風シーズン到来です。恵みの雨もこう一気に降り出すとやっかいなものです。

日本各地で河川が氾濫し、避難勧告がなされて移動を余儀なくされる方が何万人も出ますとさすがに行政の対応も大変です。例年、この時期になると起きる河川事故。田んぼの様子を見に行っていて流されたという事故が後をたちません。正直なところ見に行っても何が出来るというわけではないので、これが命を落としてしまう方がおいでです。台風が過ぎ去ったあと更に水かさが増える可能性もありますので出来るだけ近寄らないにこしたことはないでしょうね。自分の命は自分で守る。過去の歴史の中で何度も言われ続けている言葉です。

過信は禁物。皆様どうぞご注意ください。



「神奈川イグレンニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」です。こんなことが新たなビジネスにつながった。とか、思いもしなかった出会いでこんな事になりました……。など原稿を募集中です。

お伺いできる範囲であれば取材にもお伺いします。尚、自薦・他薦は問いませんのでご連絡頂ければと思います。

神奈川イグレンへの連絡問合せは、上記事務局当番者 Tel: 045-228-7331 Fax: 045-228-7331 (TEL 兼用)

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masahito@ab.bb-east.ne.jp

神奈川県異業種連携協議会 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①③④荒 直孝 ②⑤宮川 豊【火】①③⑤児玉 英二 ②④八幡 敬和【水】①愛賢司②③④⑤杉本 明子(芝)

【木】①②指方 順一郎①②③④⑤ 松井 利夫【金】①菊地(芝)③村上②④⑤織方 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川イグレン事務局

T/F 045-228-7331 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com